

秋季大会の新規定に沿った進め方について

令和4年8月31日 規定

令和5年8月29日 改訂

大阪高体連テニス専門部

①対戦チームの登録人数と行う試合の相関関係は、以下の通りである

- ・ 7～9人 VS 7～9人 → S1・D1・S2・D2・S3の全てを行う(通常通り5本勝負とする)
- ・ 7～9人 VS 6人 → S1・D1・S2・D2を行う ※(S3は7～9人のチームが不戦勝。5本勝負)
- ・ 7～9人 VS 4～5人 → S1・D1・S2を行う ※(D2・S3は7～9人のチームが不戦勝。5本勝負)
- ・ 6人 VS 6人 → S1・D1・S2・D2を行う ※(S3を行わない4本勝負となる)
- ・ 6人 VS 4～5人 → S1・D1・S2を行う ※(D2は6人チームが不戦勝。4本勝負)
- ・ 4～5人 VS 4～5人 → S1・D1・S2を行う ※(D2・S3を行わない3本勝負)

②勝敗の決め方は5本勝負及び4本勝負は3勝以上のチームの勝ち、3本勝負は2勝以上のチームの勝ちとなる。なお4本勝負で2勝2敗となった場合、以下の順で勝敗を決するものとする。

「(1)4つの試合の取得したゲームの総数、(2)(1)が同数の場合S1が勝った方を勝ちとする」

③不戦勝となった場合は、スコアを6-0(8ゲームプロセットマッチの場合は8-0)とする。

④途中リタイアとなった場合、リタイアした選手(組)の取得ゲームを入れた上で、相手側の取得ゲームを「6」または「7」とする(例：0-5で相手がリタイアしたら、記録上のスコアを7-5とする)。なお試合結果報告書には「リタイア(RT)」という記載も同時にすること。

⑤出席点呼の際に登録人数全ての選手が居なくても、欠席理由に関係なく4人以上いれば棄権とはならない。ただし人数が変わるので、減じた人数に応じて上記①のパターンに沿って勝敗を決すること。また遅刻して試合会場に来て、その日に関しては出場を認めない(日が変われば出場可能)。なお3人以下となった場合は、棄権とする

⑥予め相手チームの人数により不戦勝が分かっている場合、必ず通常と同じようにオーダー用紙には選手を記載すること。相手がいなくても選手を記載しないことは認めない。

⑦二部大会については3人以下になったら棄権とする。

⑧一部大会が終了したら、近畿地区大会に進んだチームはメンバー入れ替えの時、二部チームのメンバーを入れることを認める。その際従来入っていた二部の試合が近畿地区大会と重なった場合、修学旅行など同様にその日は避けることができる。